

デロイト トーマツ ウェブサービス株式会社

貸借対照表

2022年03月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	金 額	科 目	金 額
流動資産	77,160	流動負債	26,065
現金及び預金	53,833	未払金	8,109
売掛金	19,362	預り金	1,088
前払費用	4,081	未払消費税	7,854
貸倒引当金	116	未払法人税住民税	9,014
固定資産	1,837	固定負債	30,507
有形固定資産	1,015	長期借入金	18,200
器具及び備品	151	役員借入金	12,307
一括償却資産	863		
		負債合計	56,572
		純資産の部	
投資その他の資産	822	株主資本	22,425
敷金保証金	42	資本金	4,110
繰延税金資産	780	利益剰余金	18,315
		その他利益剰余金	18,315
		繰越利益剰余金	18,315
		純資産合計	22,425
資産合計	78,997	負債及び純資産合計	78,997

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純利益 30,038千円

個別注記表

自 2021年04月01日

至 2022年03月31日

デロイトトーマツウェブサービス株式会社

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

ただし、取得価格が20万円未満である備品等については、一括償却資産としております。

2 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権に法定繰入率により回収不能見込額を計上しております。

3 収益及び費用の計上基準

営業収益は、原則として業務提供の進行に応じて計上しております。

ただし、事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められない案件については、成果が確実と認められた時点で営業収益を計上しております。

4 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理・・・税抜方式

会計方針の変更に関する注記

1 消費税の会計処理方法の変更

消費税の会計処理方法は、従来、税込処理としていましたが、親会社との会計方針統一の観点から当事業年度より税抜処理に変更しております。

2 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 30 号 2021 年 3 月 26 日)を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転したと判断した時点で当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当社は、一部の再委託業務取引について、従来は顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額を収益として認識していましたが、顧客への財の提供における取引については、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識することとしています。

なお、当該会計基準の適用による影響はありません。

株主資本等変動計算書に関する注記

1 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 411 株

1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額 54,563 円 46 銭

1 株当たり当期純利益 73,088 円 09 銭

収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。